

2020年  
12月発行

# 第21号 宝同協だより

# め ぼ 芽 生 え



編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

## 2020年度 ハーとん じんけん作品賞 入賞者のお知らせ

【ポスターの部】  
○最優秀賞 (3点)



運天 隆光さん (末成小 3年)



中野 莉緒さん (安倉北小 5年)



佐藤 楓佳さん (長尾中 3年)

○優 秀 賞 (6点)

- 前川 世俐覇さん (西山小 2年)・宮崎 愛桜さん (仁川小 3年)・前川 莉乃愛さん (西山小 4年)
- 紙谷 泰地さん (すみれガ丘小 4年)・西山 愛海さん (御殿山中 1年)・竹原 蒼依さん (長尾中 3年)

【標語の部】  
○最優秀賞 (4点)

- 宇野 凜さん (美座小 3年) 『心のきず かくしちゃだめだよ そうだんしよう』
- 大迫 颯太さん (丸橋小 5年) 『どう思う 自分がされたら 言われたら』
- 長宗 音和さん (光ガ丘中 2年) 『見てるだけ そんな自分は 昨日まで』
- 徳好 美三子さん (市民) 『心にも ソーシャルディスタンス ほどよい加減の守り合い』

○優 秀 賞 (8点)

- 森本 晃平さん (仁川小 3年)・高野 優愛さん (安倉北小 3年)・海原 航星さん (宝塚第一小 4年)
- 榊田 柚希さん (中山桜台小 5年)・大和 賢典さん (宝塚中 1年)・岩本 陽葵さん (光ガ丘中 3年)
- 梨本 貴美子さん (市民)・長谷川 憲司さん (市民)

【作文の部】  
○最優秀賞 (3点)

- 今中 奏太さん (西谷小 2年) 『やさしくしてもらって かんじたこと』
- 徳重 優葵乃さん (中山桜台小 6年) 『気づいてほしい』
- 福田 一花さん (安倉中 2年) 『踏みだす一歩』

○優 秀 賞 (6点)

- 小松 美月さん (売布小 3年)・大西 陽輝さん (逆瀬台小 3年)・金子 ららさん (雲雀丘学園小 5年)
- 川原 志優さん (宝塚第一小 6年)・澤田 桃さん (光ガ丘中 1年)・匿名 (市内中学 3年)

【写真の部】  
○最優秀賞 (1点)



寺西 心奏さん (雲雀丘学園小 5年) 『大切なお友だち』

○優 秀 賞 (2点)



萩井 ことのさん (雲雀丘学園小 4年) 『空にとどけ』



菅原 煌生さん (高司中 3年) 『つなぐ〜祖母と手をつなぐ孫〜』

※ 最優秀賞・優秀賞受賞者のみを掲載しています。※ 佳作を含めた全受賞者は、下記の宝塚市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>【ページID: 1001134】 ホーム > 教育・子ども・人権 > 人権・性的マイノリティ・平和 > 人権 > 宝塚市人権・同和教育協議会入賞作品



コロナウイルスのことで、その名が出たときから嫌な思いがしていた。二つある。その一つが「コロナ」という名称である。コロナウイルスが太陽のコロナとよく似ていることから名付けられたようだ。迷惑なのは太陽のコロナである。太陽は生命体ではないものの我々地球上の生命を育んできた天体である。子どもの頃から天体に興味を持ち、太陽の黒点などの観察をしてきた私にとっては心外である。健康を害するウイルスは人類の敵である。太陽のコロナには何の責任もない。ぬれぎぬは差別そのものである。子どもの頃、近所のこわいおっちゃんに「オニが来た」といつのと同じである。おっちゃんは子どもを思って注意してくれていたのに！である。

もう一つがコロナ禍での人権侵害である。過去、日本では自分たちに関わる大きな事件が起きるとその関係者に責任を負わせる差別である。子ども世界での話。

- 嫌いな友だちに「コロナが来た」と逃げる。
  - 親が病院つとめの子どもに「近寄りなさい」と避ける。
  - 髪の毛がパーマ風の子に「コロナ」とあだ名をつける。
- 子どもたちは「そんなこと言ったり、したらあかん」と注意するけれども、傷つく子ども後をたさない。

- ▲ 大人社会でもあちこちから聞こえてくる。
- ▲ シジで店員に「商品に勝手にさわらないで」という客
- ▲ 「近付かないで・咳をしないで・隔離してよ」と平気な言葉
- ▲ 「中国は怖い・中国人は帰れ」と根拠のない偏見言葉
- ▲ 「アベノマスク」と人の名でやめるマスク

コロナ警察とかマスク警察と言われる人たちも、正義を振りかざして他人の事情も考えず人権を侵害している。さらに恐ろしいのはネット中傷である。輪をかけての個人への中傷はその人の命まで奪う。

【和久】

## 2020年度 第10回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」のご案内

大会テーマ『あなたに伝えたい わたしの思い』

第10回大会テーマ：コロナ禍から「いのち・くらし・教育」を守ろう！

日時：2021年1月16日（土）13:30～16:00（受付13:00～）

場所：宝塚市立教育総合センター（宝塚市小浜1-2-1）

内容：○ 日頃の生活の中での悩みや差別、人権の問題について共に考えます。

○ お互いの立場を考えながら、自らの体験や意見を積極的に出し合います。

○ 自分自身が今、できることを考え、共に生きる社会の実現をめざします。

日程：全体会 13:30～14:40（3階 視聴覚室）

・宝同協より あいさつと「学びのつどい」の趣旨説明

・全体会報告 平山 舞 さん（宝塚市立御殿山中学校教員）

仲本 幸弘 さん（池ノ島デイサービスセンター）

岡田 英里 さん（宝塚市立売布小学校PTA）

栗田 義博 さん（宝塚市医師会）

分科会 14:50～16:00



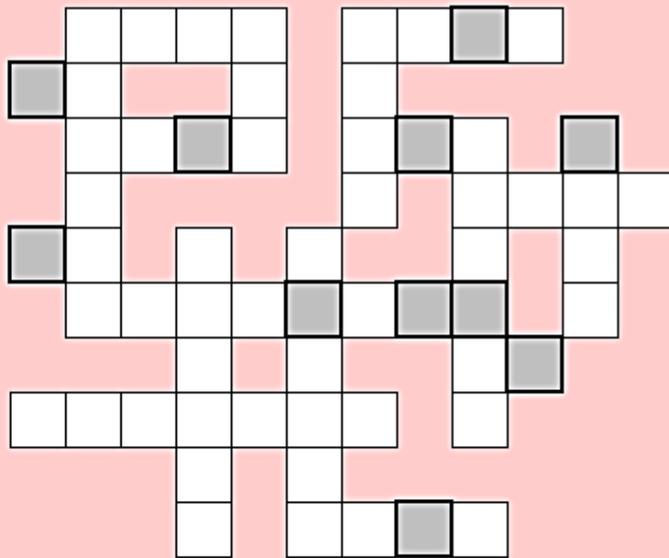
昨年度の分科会の様子

どなたでも自由に  
参加できます

	分科会名	分科会場（定員）
第1分科会	コロナ禍から子どもの教育を守る	2階 小会議室2・3(25人)
第2分科会	コロナ禍から人々のくらしを守る	3階 コンピュータ研修室(15人)
第3分科会	コロナ禍から子どもの笑顔を守る	3階 アクティブ・ラーニング室(15人)
第4分科会	コロナ禍からいのちを守る	3階 視聴覚室(30人)

※新型コロナ感染症対策を十分行って実施いたします。状況によっては中止・延期になる場合もあります。

# 芽生えパズル



<スケルトンパズル>  
 ○たて・よこのマス目に下の文字をうまくあてはめます。  
 ○太いマス目に入った文字を並べ替えてある言葉にします。  
 (答えは下にあります。)

- 2文字 ヨサ ダレ エコ
- 3文字 クセジ タタミ
- 4文字 スマイル リハビリ  
ミマモリ オリガミ  
オトサタ ミチクサ  
ヨピリン
- 6文字 デイサービス シリツシエン  
フクシプラン オレオレサギ
- 7文字 グループホーム
- 8文字 ギャクタイボウシ

パズルの答え

シ						モ				
---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

【和久】

## 街角風景



西谷のコスモス



おいしい焼き芋



シルエットクイズ

こんな看板・風景  
 を見つけました 

### ✿ 編集後記 ✿

新型コロナウイルス感染症により、イベントや地域活動が制限される中、これまでと変わらずたくさんの人権作品が集まりました。あたり前があたり前でなくなったとき、新しいものを見つける子どもたちの前向きさに注目したいものです。「芽生え」21号から「光」を見つけてください。  
 【津国】

### 宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子・菅 理香・平松 友紀・梅田 美佐子  
 秋山 礼・北村 忠司・吉田 正邦・阪本 英次  
 和久 有彦・美除 浩・荻野 雅憲・中田 公平